

GARMIN®

TACX® NEO 3M

操作マニュアル

© 2023 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、Garmin ロゴ、Edge®、Forerunner®、および Tact®は、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。Garmin Connect™は、Garmin Ltd.またはその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

BLUETOOTH®ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、Garmin 社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。Shimano®は、Shimano, Inc. の登録商標です。SRAM®は、SRAM LLC. の登録商標です。Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。その他の商標および商標名はそれぞれの所有者の所有物です。

本製品は ANT+®の認証を受けています。互換性のある製品とアプリの一覧は www.thisisant.com/directory をご覧ください。

M/N: A0S4355

目次

はじめに.....	1
取り付けキット.....	2

Tacx NEO 3M の組み立て指示..... 2

トレーナーの展開.....	3
スルーアクスルバイクの取り付け.....	4
クイックリリースアクスルバイクの取り付け.....	5
フロントホイールサポートの位置決め.....	8
電源ケーブルの接続.....	9
Tacx スマートネットワークアダプター(オプション)の接続.....	10

トレーニング..... 10

ライドを開始する.....	11
Tacx Training アプリ.....	12

デバイス情報..... 14

仕様.....	14
カセットの互換性.....	14
デバイスの手入れと保管方法.....	16

トラブルシューティング..... 17

トレーナーソフトウェアの更新.....	17
Tacx Training アプリがトレーナーに接続されない.....	18
トレーナーが応答しない.....	18
オープン接続を使用して ANT+または Bluetooth センサーをペアリングできますか？.....	18
トレーナーと Edge サイクルコンピューターのペアリング.....	18
トレーナーと Garmin ウォッチのペアリング.....	19

はじめに

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

注意

トレーナーが故障するおそれがあるため、Tacx NEO 3M トレーナーは、ロッカープレートなどの他のモーションアクセサリーと併用しないでください。

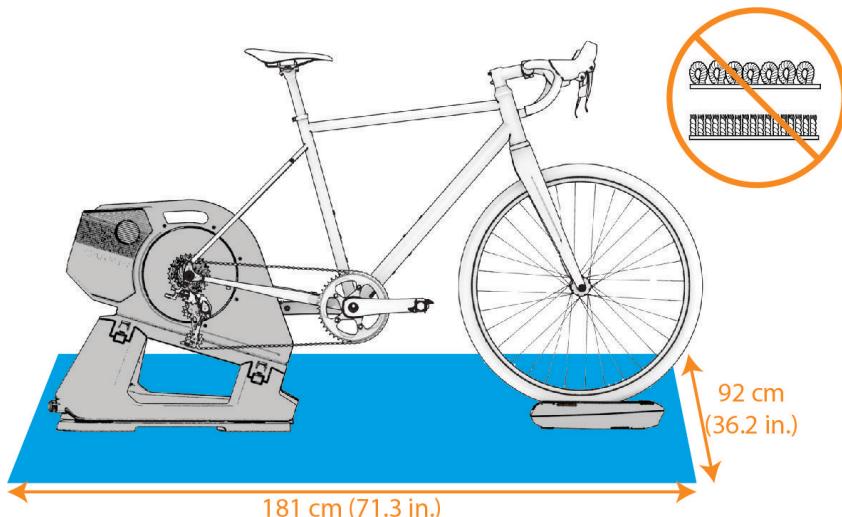
Tacx NEO 3M カセット本体とカセットは、Shimano® および SRAM® 11 速システムに対応しています。別のカセットスタイルがある場合は、カセットを交換する必要があります ([カセットの交換, 15 ページ](#))。

- トレーナーを組み立ててバイクを取り付ける前に、説明書をよくお読みください。
- スマートフォンのカメラで QR コードをスキャンし、Tacx Training アプリの指示に従います。



ヒント: Tacx Training アプリには、トレーナーのセットアップ、動画、およびソフトウェアの更新が含まれています ([トレーナーと Tacx Training アプリのペアリング, 12 ページ](#))。

- Tacx NEO 3M トレーナーは、硬めのマットまたは毛足の短いカーペットの上でのご使用を推奨します。柔らかいカーペットや毛の長いカーペットでは使用しないでください。181 cm x 92 cm(71.3 x 36.2 in.) 以上のトレーニングマットが使用できます。



オプションのアクセサリは、buy.garmin.com または Tacx 販売店から入手できます。

取り付けキット

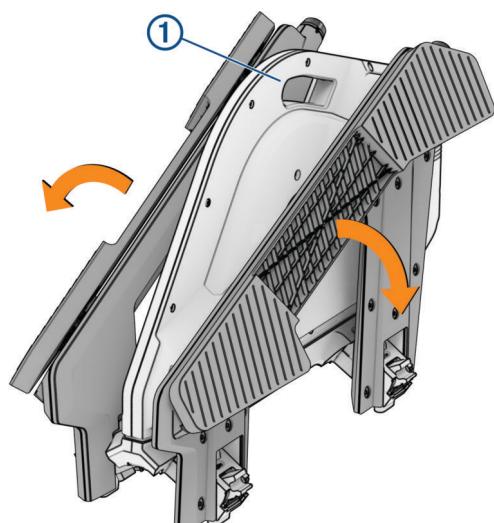
取り付けキットには、クイックリリースアクスル、互換性のあるエンドキャップサポートとエンドキャップ、スペーサー、および青色のツールが含まれています。

アクスル	ノンドライブ側エンドキャップサポート	エンドキャップ(2)
142 mm スルー	取り付け済みハードウェア	Thru-Axle 12mm
148 mm スルー	NDS/148 Thru 組み立てには青色のツールが必要です。	Thru-Axle 12mm
135 mm クイックリリース ディスクブレーキ付きのほとんどのロードバイクに共通です。	取り付け済みハードウェア	QR
130 mm クイックリリース リムブレーキ付きのほとんどのロードバイクに共通です。	NDS/130 QR 組み立てには青色のツールが必要です。	QR

Tacx NEO 3M の組み立て指示

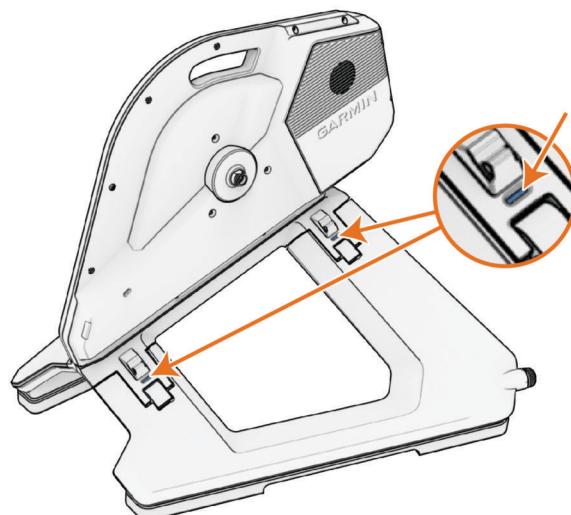
トレーナーの展開

- トレーナーの両側を開き、ハンドル①を持ち上げます。



ヒント: トレーナーは重量があります。片側を展開してロックし、反対側にも同じ操作を繰り返すことができます。

- トレーナーの両側が所定の位置にロックされていることを確認します。
すべてのインジケーター ウィンドウは青であり、両側が適切にロックされている必要があります。



- トレーナーを固く水平な場所に置きます。

スルーアクスルバイクの取り付け

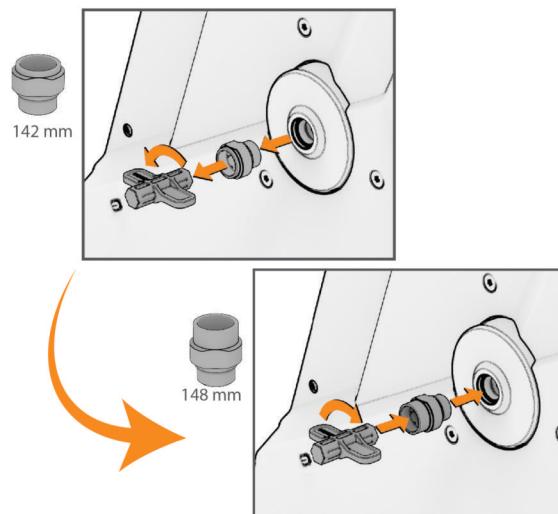
トレーナーは、142 mm または 148 mm スルーアクスルを使用するバイクに対応しています。

1 次のオプションを選択します。

- 148 mm スルーアクスルの場合は、手順 2 に進みます。
- 142 mm スルーアクスルの場合は、手順 5 に進みます。

2 取り付けキット  を開き、NDS/148 Thru エンドキャップサポートと青色のツールを選択します。

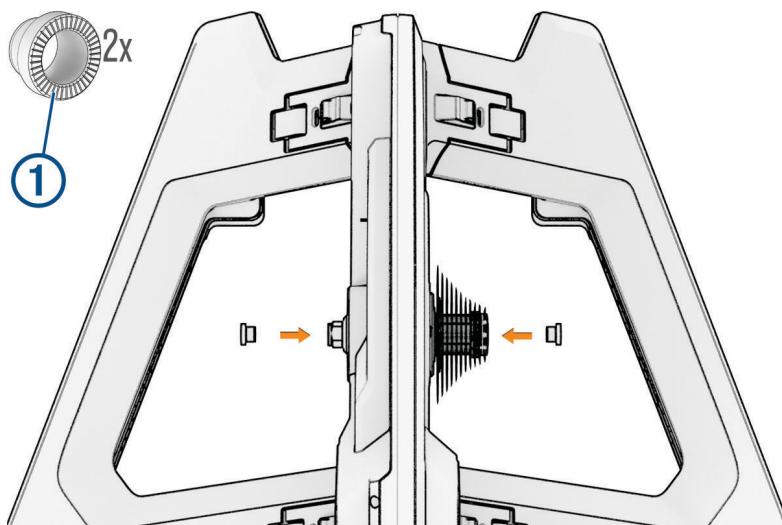
3 青色のツールを使用して、ノンドライブ側の既存のエンドキャップサポートを取り外します。



4 青色のツールを使用して、NDS/148 Thru エンドキャップサポートを取り付けます。

5 取り付けキット  を開き、Thru-Axle 12mm エンドキャップを選択します。

6 エンドキャップ ① を、エンドキャップサポートにはめ込みます。



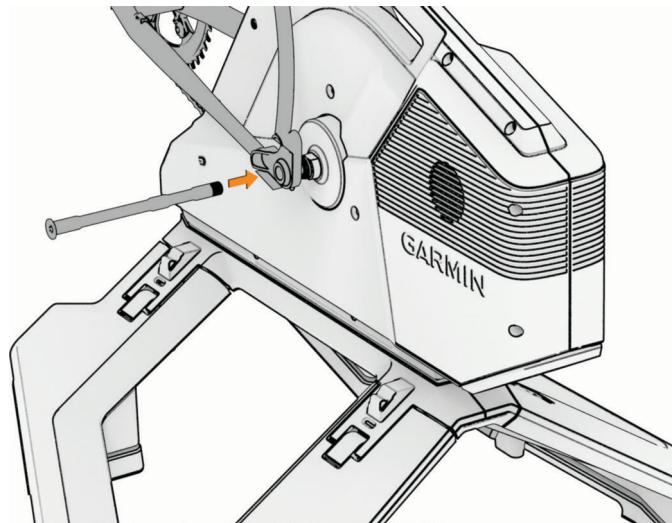
7 バイクで、最小のカセットギアにシフトします。

8 バイクから後輪を取り外します。

注意: バイクとすべての部品を手の届くところに置いておく必要があります。

9 トレーナーの上にバイクを置き、チェーンがトレーナーカセットの一番小さいスプロケットにかかっていることを確認します。

10 アクスルを差し込み、手で締め付けます。



11 アクスルまたはバイクの説明書に記載されている規定トルクに従ってアクスルを締め付けます。

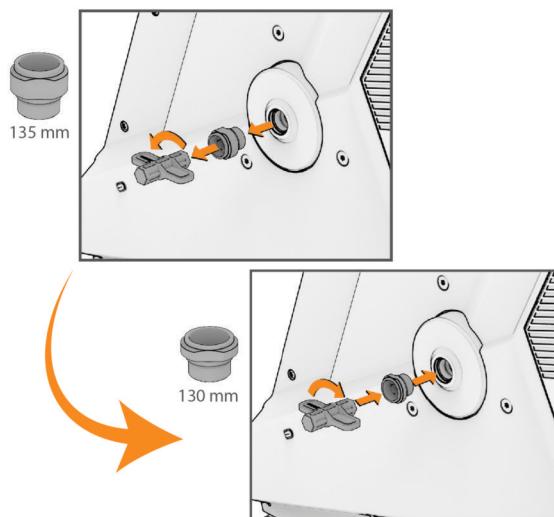
クイックリリースアクスルバイクの取り付け

1 次のオプションを選択します。

- 130 mm クイックリリースアクスルの場合は、手順 2 に進みます。
- 135 mm クイックリリースアクスルの場合は、手順 5 に進みます。

2 取り付けキット  を開き、NDS/130 QR エンドキャップサポートと青色のツールを選択します。

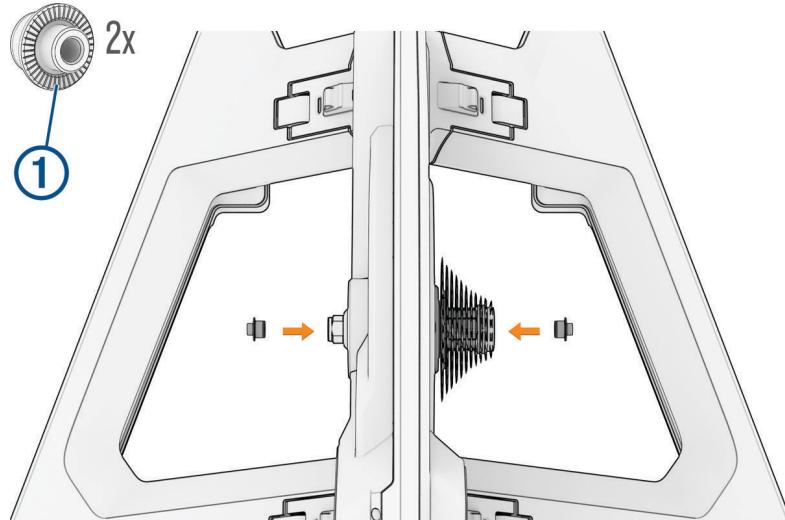
3 青色のツールを使用して、ノンドライブ側の既存のエンドキャップサポートを取り外します。



4 青色のツールを使用して、NDS/130 QR エンドキャップサポートを取り付けます。

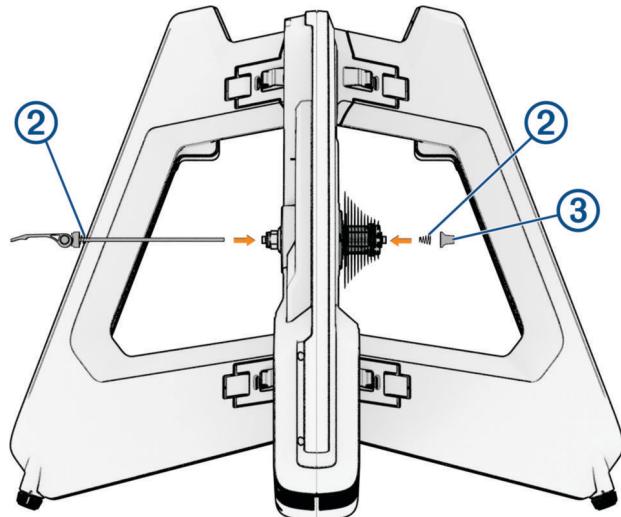
5 取り付けキット  を開き、QR エンドキャップを選択します。

6 エンドキャップ ① を、エンドキャップサポートにはめ込みます。



7 トレーナーのノンドライブサイドからスキュワーを差し込みます。

8 スキュワーに円錐ばね ② をはめます。



9 手でキャップ ③ を締めます。このとき、バイクフレームのための十分なスペースを残しておきます。

10 バイクで、最小のカセットギアにシフトします。

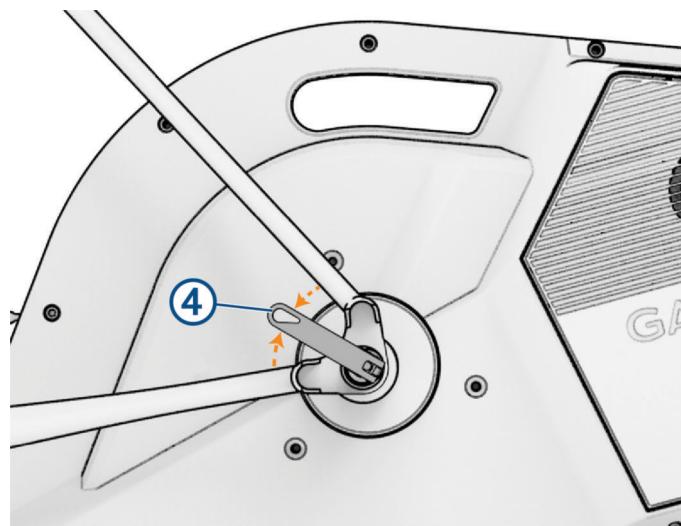
11 バイクから後輪を取り外します。

注意: バイクとすべての部品を手の届くところに置いておく必要があります。

12 トレーナーの上にバイクを合わせ、トレーナーカセットの一番小さいスプロケットにチェーンをかけます。

13 キャップを締め、クイックリリースハンドル ④ を閉じます。

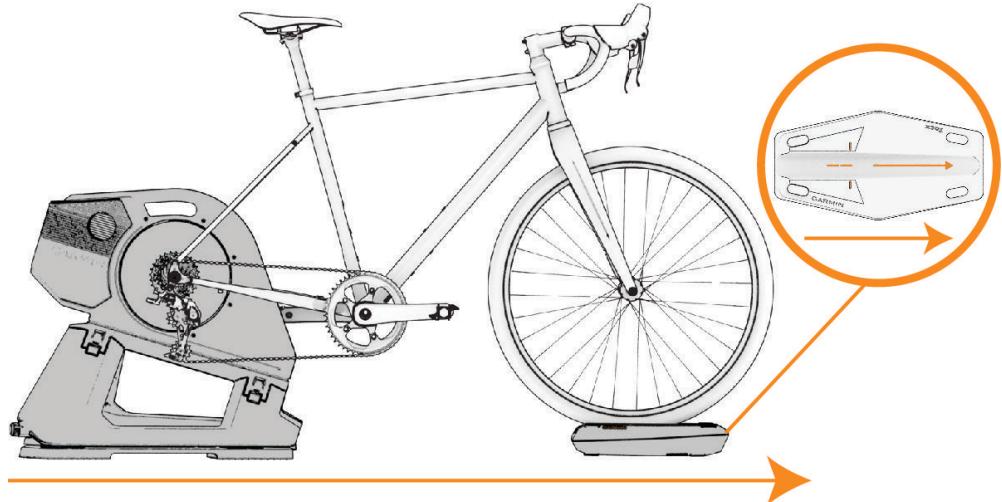
ヒント: フレームバーの間にあるハンドルを閉じて、つかみやすくします。



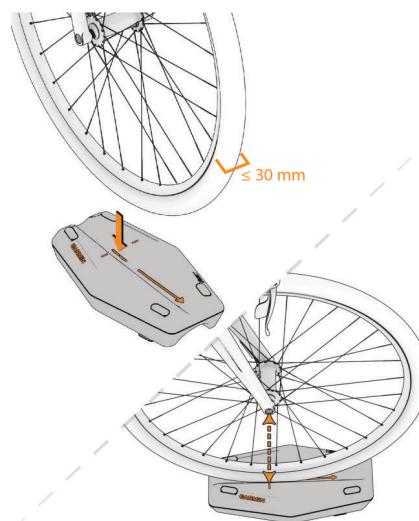
フロントホイールサポートの位置決め

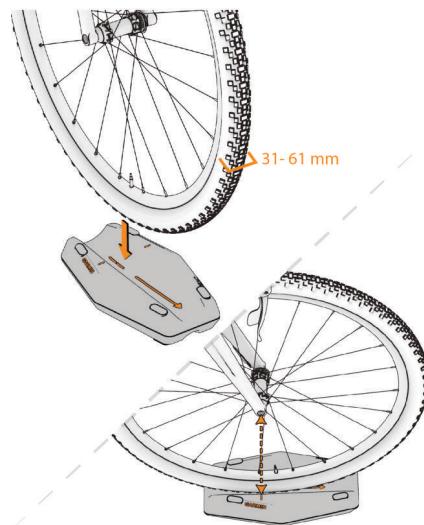
フロントホイールサポートは製品パッケージ内(下部のフォーム片の下)にあります。フロントホイールサポートの配置する前に、トレーナーにバイクを取り付ける必要があります。

両面式フロントホイールサポートは、バイクの前輪を持ち上げ、自然なサイクリングポジションを実現し、安定性を向上します。ホイールサポートの幅の狭い側は、最大 30 mm(1.18 in)のタイヤ幅を保持できます。フロントホイールサポートの幅の広い側は、31~61 mm(1.2~2.4 in.)のタイヤ幅を保持できます。



1 フロントホイールサポートをフロントホイールの下に置きます。





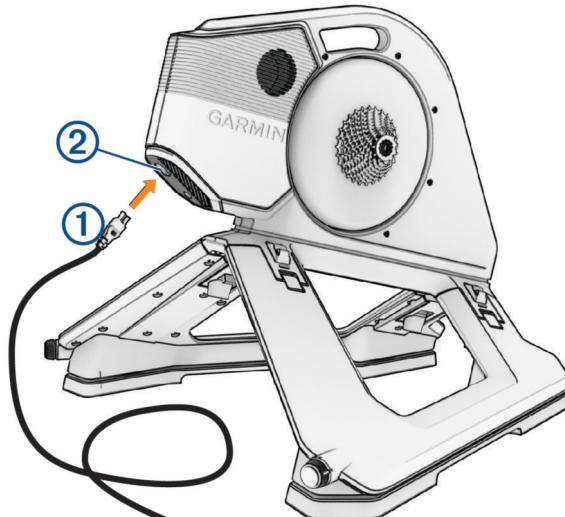
- 2 トレーナーの上に座り、ペダルを数回踏みます。
- 3 必要に応じて、フロントホイールサポートの配置を調整します。

電源ケーブルの接続

△ 注意

電源ケーブルは製品ボックスに同梱されています。Tacx NEO 3M トレーナーに他社製の電源ケーブルやアダプタを使用しないでください。使用者がけがをしたり、トレーナーが故障するおそれがあります。

- 1 電源ケーブル ① をポート ② に差し込みます。



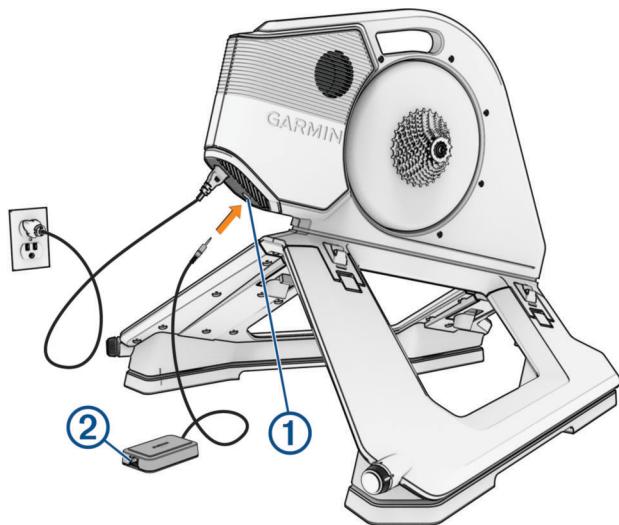
- 2 電源ケーブルを標準的な電源コンセントに差し込みます。
 - 3 クランクを回転させます。
- LED は白色 ([LED ステータス, 13 ページ](#))です。

Tacx スマートネットワークアダプター(オプション)の接続

注意

アダプターは別売りです。アダプターは互換性のある Tacx トレーナーで使用する必要があります。Garmin®は、アダプターを互換性のないデバイスに接続したことによって生じる損害については責任を負いません。

- 1 トレーナーを外部電源に接続します。
- 2 トレーナーのポート ① にアダプタを接続します。



LED が白色に点滅します (LED ステータス, 13 ページ)。

- 3 次のオプションを選択します:

- トレーナーとペアリングされた Tacx Training トレーニングアプリを使用して Wi-Fi®ネットワークに接続します。 Tacx Training アプリがインストールされているデバイスは、同じ Wi-Fi ネットワークを使用している必要があります。
- イーサネットケーブル ② を Tacx Training アプリがインストールされたコンピュータに直接接続します。
- イーサネットケーブルを無線ルーターまたはホームネットワークに接続します。 Tacx Training アプリがインストールされているデバイスは、同じルーターまたはネットワークを使用している必要があります。

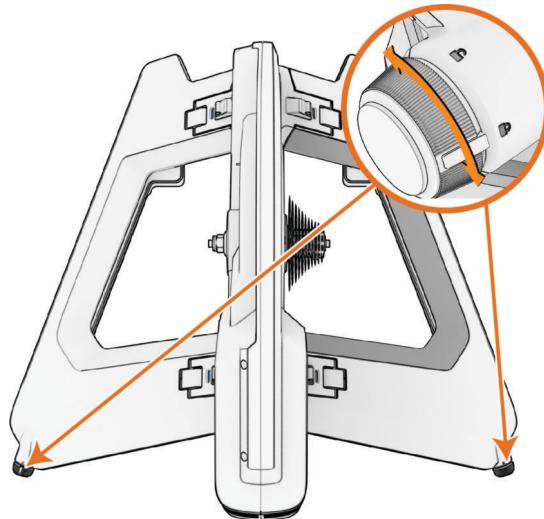
トレーニング

ライドを開始する

Tacx NEO 3M トレーナーに初めてライドする場合は、手動トレーニングモードで短時間のライドにしてください。モーションプレートに慣れる必要があります。

- 1 モーションプレートのロックを解除します。

ヒント: カチッと音がするまで、各ノブを  方向に回す必要があります。



- 2 ゆっくりとペダリングを開始します。

トレーナー LED は白色 (LED ステータス, 13 ページ) です。

- 3 ギアチェンジとスピードを上げる練習をします。

自然なライディングのためのヒント

- モーションプレートがロック解除されている時は、スプリントを避けてください。モーションプレートがロックされている場合は、スプリントを行うことができます。
- ライディング中に乗り物酔いを感じた場合は、次のオプションを試してください:
 - バイクの前方を見るようにします。
 - ライディング中にトレーニングビデオを見ます。
 - ライディング前とサイクリング中は、たっぷりと水を飲みます。
 - 気分が良くなるまでサイクリングをやめて、もう一度やってみてください。

トレーニングモード

電源供給および接続済み: すべての機能は、トレーナーが外部電源に接続され、Tacx Training アプリに接続されている場合に使用できます。

スタンダロン: アプリや Edge® サイクルコンピューターが接続されていない場合、トレーナーは平坦な道路をシミュレートし、空気抵抗と道路抵抗、およびユーザーとバイクの重量のデフォルト設定を使用します。

外部電源未接続: 外部電源がない場合、トレーナーは下り坂走行、ボタン押し、イーサネットまたは Tacx スマートネットワークアダプタ(別売)との Wi-Fi 通信をサポートしません。ライダーは、最適化の度合いの低い乗り心地を経験する可能性があります。

スタンバイモード

使用していないときは、Tacx NEO 3M トレーナーはスタンバイモードになります。クランクを回転させることで、トレーナーを起動できます。

外部電源接続済み: 5 分間何もアクティビティを行わないと、トレーナーはスタンバイモードになります。

外部電源未接続: 10 秒間何もアクティビティを行わないと、トレーナーはスタンバイモードになります。

Tacx Training アプリ

Tacx Training アプリは、互換性のあるスマートフォンやタブレット、PC にダウンロードできます。

- ご自宅にいながら、様々なコースでライドをお楽しみいただけます。
- 独自のライド、ワークアウトなどを作成できます。
- トレーニングを管理、または設定のカスタマイズや問題の診断が可能です。
- 屋内トレーニングデータを Garmin Connect™ アカウントに同期できます。
- トレーナーソフトウェアをアップデートします ([トレーナーソフトウェアの更新](#), 17 ページ)。

トレーナーと Tacx Training アプリのペアリング

トレーナーと Tacx Training アプリを初めてペアリングする場合は、トレーナーを外部電源に接続する必要があります。ペアリングされた後は、ライドを開始するとトレーナーとアプリが自動的に接続されます。

ヒント: イーサネットまたは Wi-Fi ネットワークに接続する場合は、ネットワークアダプタアクセサリーを buy.garmin.com でお買い求めいただけます。

1 次のオプションを選択します:

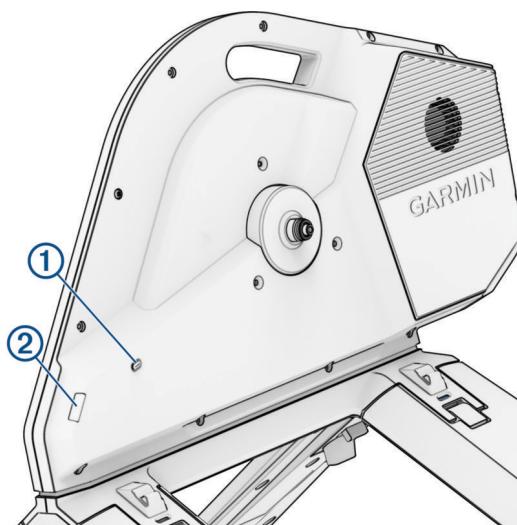
- スマートフォンのカメラで二次元コードをスキャンし、画面に表示される指示に従います。



- Tacx NEO 3M トレーナーを既存のアカウントに追加するには、Tacx Training アプリを開き、**設定 > デバイスの管理** の順に選択します。

2 トレーナーのペアリングボタン ① を押します。

トレーナーがセキュリティで保護された Bluetooth® ペアリングモードになっているときは、LED ② が青色に点滅します。接続タイプについて、詳しくは garmin.com/connectiontypes をご参照ください。



3 Tacx Training アプリで、画面に表示される指示に従います。

Tacx Training アプリでは、接続されたトレーナーのアイコンが緑色になります。

4 ワークアウトまたはコースを選択します。

5 ペダルを踏み始めます。

トレーナーがアプリによって制御されると、トレーナー LED が白から青に変わります ([LED ステータス](#), 13 ページ)。

LED ステータス

LED は、トレーナーのステータスと接続のタイプに応じて変化します。

LED の動作	ステータス
白	トレーナーがアクティブで、適切に動作しています。
青色で点滅	トレーナーが Bluetooth ペアリングモードになっています。
青	トレーナーは Bluetooth デバイスによって制御されます。
白色で点滅	トレーナーを起動または電源を入れると、高速に点滅してオープン接続状態であることを示します。詳しくは、 garmin.com/connectiontypes をご参照ください。
緑	トレーナーは ANT+® デバイスによって制御されます。
黄	トレーナーは Tacx スマートネットワークアダプタ(別売)によって制御されます。
シアンで点滅	トレーナーソフトウェアを更新しています。
赤に点滅	重大なトレーナーのエラーを示します。詳細については、Tacx Training アプリを確認してください。

トレーニング中はフロア LED の色が変わります。

フロア LED の動作	ステータス
青	低出力を示します。
紫	中出力を示します。
赤	高出力を示します。

アプリからのトレーナー設定のカスタマイズ

トレーナー設定を変更する前に、トレーナーと最新バージョンの Tacx Training アプリをペアリングする必要があります (トレーナーと Tacx Training アプリのペアリング、12 ページ)。

- 1 Tacx Training アプリを開きます。
- 2 設定 > デバイスの管理の順に選択します。
- 3 トレーナーを選択します。
- 4 デフォルトの体重またはバイク重量を設定するには、トレーナー設定 > デバイスのデフォルトを選択します。
これは、サードパーティのアプリが重量データを提供していない場合に使用されます。
- 5 必要に応じて、設定 > トレーニング設定を選択して体重を更新し、トレーニング設定をカスタマイズします。

デバイス情報

仕様

電源	付属の電源ケーブルを使用してください。 100~240 V, 50/60 Hz
動作温度範囲	-10~40 °C(14~104 °F)
保管温度範囲	-20 °C~60 °C(-4 °F~140 °F) 注意 トレーナーがこの温度範囲未満で保管または出荷された場合は、トレーナーが作動温度範囲に戻ってから12時間待ってから使用します。極端な温度変化により、トレーナー内部に結露が発生し、物的損傷につながったりする可能性があります。
ワイヤレス周波数と送信出力	2.4 GHz @ 6 dBm 最大
ライダーの最大体重	125 kg(275 lb.)

カセットの互換性

工場出荷時に取り付けられるカセットは Shimano および SRAM システムと互換性のある 11 速システムです。取り付けキットのは、青色のツールとオプションのスペーサーが含まれています (取り付けキット, 2 ページ)。

互換性のあるカセットシステム	フリーハブ本体	オプションのスペーサー
8、9、または 10 速 Shimano または SRAM	デバイス購入時に含まれるサービス	40 mm x 1 mm
12 速 Shimano	デバイス購入時に含まれるサービス	24 mm x 1 mm, 24 mm x 0.5 mm
12 速 SRAM	付属していません ¹ Tacx SRAM XD-R を購入するには、 buy.garmin.com にアクセスしてください。	24 mm x 1 mm, 24 mm x 0.5 mm
12 速マウンテンバイク	付属していません ¹ Tacx マイクロスプラインを購入するには、 buy.garmin.com にアクセスしてください。	24 mm x 1 mm, 24 mm x 0.5 mm
その他	付属していません ¹ buy.garmin.com にアクセスします。	詳細については、カセット付属の製造元の指示を参照してください。

¹組み立てには青色のツールが必要です。

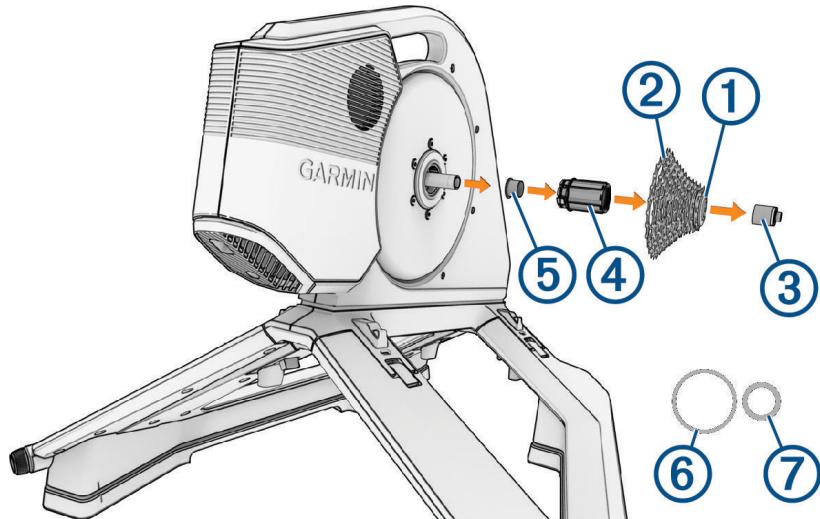
カセットの交換

カセットを交換する前に、カセットロックリングツールとカセットプライヤまたはチェーンホイップを入手する必要があります。トレーナーのパーツと取り付けキットのアイテムはすべて一緒に保管してください (取り付けキット, 2 ページ)。

注意

バイク用工具やカセットのメンテナンスに精通している必要があります。知識が不足していると、トレーナーが損傷するおそれがあります。バイクカセットの取り外しまたは取り付けを行ったことがない場合、Garmin では経験豊富なバイク技術者にトレーナーを持って行くことをお勧めします。

ヒント: 異なるカセットシステムを搭載した複数のバイクを使用している場合は、カセットをフリーハブ本体に置いたまま、一緒に交換するのが最も簡単です。この図は、カセットのバリエーションごとに固有の要件があることを知ったうえで、参考として使用できます。



- 1 取り付けキット  を開きます。
- 2 付属のフリー哈ブ本体と互換性のあるカセットをお持ちの場合は、次の手順に従います。
 - 2.1 カセットプライヤまたはチェーンホイップを使用して、カセット ② を所定の位置に保持します。
 - 2.2 カセットロックリングツールを使用して、ロックリング ① を反時計回りに回します。
これには、強さでこの作用が必要です。
 - 2.3 フリー哈ブ本体 ④ を所定の位置に残して、カセットを取り外します。
 - 2.4 手順 4 に進みます。
- 3 別のフリー哈ブ本体を必要とするカセットを使用する場合は、次の手順に従います。
 - 3.1 カセットプライヤまたはチェーンホイップを使用して、カセット ② を所定の位置に保持します。
 - 3.2 カセットロックリングツールを使用して、ロックリング ① を反時計回りに回します。
これには、強さでこの作用が必要です。
 - 3.3 青色のツール  を使用してロックナット ③ を取り外します。
 - 3.4 カセット、ロックリング、フリー哈ブ本体 ④ を取り外します。
 - 11速システムに切り替える場合に備えて、これらの部品をすべてまとめておいてください。
 - 3.5 新品のフリー哈ブ本体とロックナットを取り付けます。
 - 3.6 手順 4 に進みます。
- 4 カセットをフリー哈ブ本体に置き、ロックリングを取り付けます。
一部の 9 速または 10 速カセットではカセットとロックリングの間に追加のスペーサー ⑥ が必要になる場合があります。詳細については、製造元の指示を参照してください。
- 5 ロックリングを締める前に、クリアランスを確認してください。
一部の 12 速カセットでは、トレーナーとカセットの間に追加のスペーサー ⑦ が必要になる場合があります。

6 バイクのディレーラーが最大のカセットギアでトレーナーと接触した場合は、次の手順に従います。

6.1 青色のツール  を使用してロックナット ③ を取り外します。

6.2 カセットを取り付けた状態でフリーハブ本体を取り外します。

6.3 黒のスペーサー ⑤ を取り外します。

6.4 1つまたは2つのスペーサーを追加します。

6.5 黒のスペーサー、フリーハブ本体とカセット、ロックナットを取り付けます。

6.6 ロックナットを締め付けます。

青色のツール  を使用してロックナットを手で締め付けることができます。トルクレンチを使用する場合、Garmin ではロックナットに最大トルク 6 N·m(4.4 lbf·ft)を推奨します。

7 ロックリングを締め付けます。

Garmin では、Tacx NEO 3M カセットに 40 N·m(29.5 lbf·ft)のトルクを推奨します。その他のカセットについては、製造元の指示を参照してください。

デバイスの手入れと保管方法

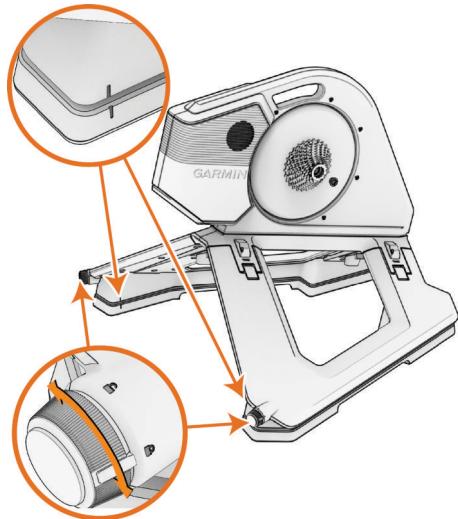
⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- トレーナーを使用しないときは、プラグを抜いておきます。
- トレーナーを使用しないときは、位置合わせを確認してモーションプレートをロックしておきます。
- 使用後は必ずトレーナーを拭いてください。
- トレーナーを保管する前はきれいに清掃してください。

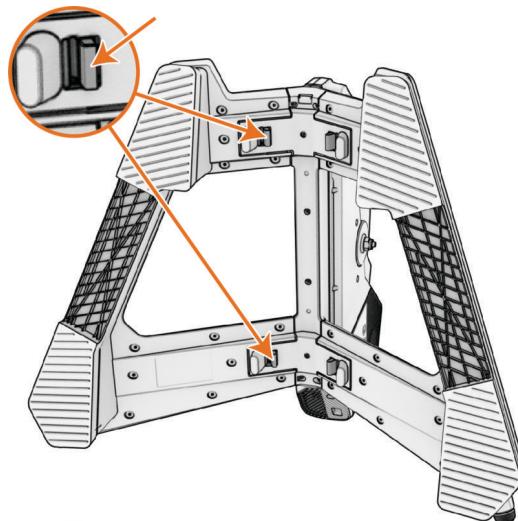
トレーナーを保管用に折りたたむ

1 位置合わせを確認し、モーションプレートをロックします。

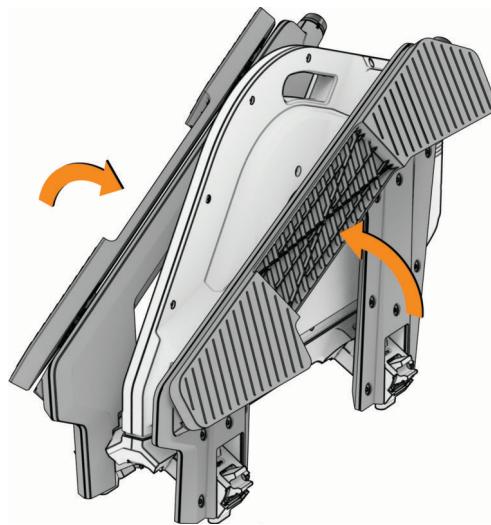


2 トレーナーを後ろに傾けます。

3 トレーナーの両側のロックを解除します。



4 カチッと音がして所定の位置に収まるまで、両側を折りたたみます。



トラブルシューティング

トレーナーソフトウェアの更新

トレーナーソフトウェアを更新する前に、トレーナーと最新バージョンの Tacx Training アプリをペアリングする必要があります (トレーナーと Tacx Training アプリのペアリング, 12 ページ)。

- 1 電源ケーブルをコンセントに接続します (電源ケーブルの接続, 9 ページ)。
- 2 スマートフォンまたはタブレットの Tacx Training アプリを開きます。
ヒント: 携帯電話またはタブレットのバッテリーレベルを確認する必要があります。
- 3 設定 > デバイスの管理の順に選択します。
- 4 トレーナーを選択します。
- 5 フームウェアの更新 > 更新を選択します。
ソフトウェアの更新中は、トレーナー LED がシアンで点滅します。
- 6 ソフトウェアの更新が完了するまで待ちます。
ヒント: ソフトウェアの更新中は、トレーナーの電源を抜いたり、アプリを切り替えたりしないでください。
これには数分かかる場合があります。

Tacx Training アプリがトレーナーに接続されない

Tacx Training アプリがトレーナーに接続できない場合は、次のヒントをお試しください。

- スマートフォンをオフにしてから再度オンにします。
- スマートフォンの Bluetooth 接続をオフにして、もう一度オンにします。
- トレーナーの電源ケーブルを外し、再度接続します。
- トレーナーが別のデバイスまたはアプリに接続されていないことを確認します。
- Tacx Training アプリを最新バージョンに更新します。
- 新しいスマートフォンを購入した場合は、使用を中止するスマートフォンの Tacx Training アプリからトレーナーを削除します。

トレーナーが応答しない

トレーナーが応答しなくなった場合は、これらのヒントをお試しください。

- ペアリングボタンを 5 秒間押し続けてトレーナーの電源を切り、ペアリングされているデバイスから切断します。
 - ペアリングボタンを 10 秒間押し続けて、デバイスを工場出荷時の設定に戻します。
- トレーナーと Tacx Training アプリを再度ペアリングする必要があります ([トレーナーと Tacx Training アプリのペアリング](#), 12 ページ)。

オープン接続を使用して ANT+または Bluetooth センサーをペアリングできますか？

トレーナーは、互換性のある ANT+または Bluetooth センサーとのオープン接続を使用できます。

- 1 Tacx Training アプリから、**接続の設定**を選択します。
- 2 Bluetooth センサーの場合は、**セキュア Bluetooth 接続**をオフにします。
確認メッセージが表示されます。
- 3 ANT+センサーの場合は、**ANT+ FE-C(スマートトレーナー制御)**または**ANT+パワーセンサー**をオンにします。
確認メッセージが表示されます。
- 4 センサーをトレーナーの 3 m(10 ft.) 以内に置きます。
注意: ペアリング中は、他のセンサーから 10 m(33 ft.) 以上離します。
- 5 互換性のあるセンサーとトレーナーのペアリング手順に従います。
トレーナーのペアリングボタンを押すと、ステータス LED が白色に点滅します。接続タイプは、Tacx Training アプリの設定で変更するまでオープン接続になります。

トレーナーと Edge サイクルコンピューターのペアリング

Tacx NEO 3M トレーナーは、Edge 1040 などの互換性のある Edge サイクルコンピューターと ANT+接続または Bluetooth 接続でペアリングできます。Tacx NEO 3M トレーナーは、ワークアウトやコース用のスマートトレーナーとしてペアリングすることも、パワーセンサーとしてペアリングしてパワーとケイデンスのデータのみを記録することもできます。特定のデバイスの互換性、購入、またはデバイスの操作マニュアルの情報については、www.buy.garmin.com を参照してください。

- 1 Edge サイクルコンピューターをトレーナーから 3 m(10 ft.) 以内に置きます。
注意: ペアリング中は、他のワイヤレスセンサーから 10 m(33 ft.) 以上離します。
 - 2 Edge サイクルコンピューターで **≡ > Sensors > Add Sensor** の順に選択します。
注意: Edge サイクルコンピューターは近くの ANT+センサーを検索します。
 - 3 デバイスがトレーナーを検索するまで待ちます。
 - 4 Edge サイクルコンピューターにメッセージが表示されます。
 - 5 画面に表示される指示に従って操作します。
- トレーナーがデバイスとペアリングされると、トレーナーは接続されたセンサーとして表示されます。センサーデータは、トレーニングページのデータ項目として確認できます。任意でデータ項目をカスタマイズできます。

トレーナーと Garmin ウォッチのペアリング

Tacx NEO 3M トレーナーは、Forerunner® 965 などの互換性のあるウォッチと ANT+接続または Bluetooth 接続でペアリングできます。

特定のデバイスの互換性、購入、またはウォッチの操作マニュアルの情報については、www.buy.garmin.com を参照してください。

- 1 Forerunner ウォッチをトレーナーから 3 m(10 ft.) 以内に置きます。

注意: ペアリング中は、他のワイヤレスセンサーから 10 m(33 ft.) 以上離します。

- 2 ウォッチの  を長押しします。

- 3 センサー > 追加 > すべて検索の順に選択します。

ヒント: 自動検出オプションを有効にしてアクティビティを開始すると、近くのセンサーが自動的に検索され、ペアリングするか確認するメッセージが表示されます。

トレーナーがウォッチとペアリングされると、センサーのステータスが検索中から接続済みに変わります。トレーナーデータは、トレーニングページのデータ項目として確認できます。任意でデータ項目をカスタマイズできます。

support.garmin.com